

ご卒業  
おめでとうござい  
ます



## 「絆があって未来がある」

後援会会長 宮下 和彦

一年過ぎるのも早いもので、出会いと別れの桜咲く季節になりました。後援会会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。平素より本会の活動にご理解を賜り感謝申し上げます。

令和3年度の卒業生の皆さん、日本工業大学卒業おめでとうございます。大学で学んだ知識、高度な技術や沢山の人達との出会いを通して更なる飛躍を期待しております。また、ご子息、ご息女と共に歩んだ保護者の皆様ご卒業おめでとうございます。本年度の卒業生は約2年間、新型コロナウイルスの影響で学生生活に戸惑いや不安を抱えることも多かったと思います。これから新たな人生が始まりますが、親にとっては「いつまで経っても子は子」です。保護者の皆様には、末長くご子息、ご息女を見守り共に人生を歩んでいただきたいと思います。

さて、本会の活動につきましては、今年度も新型コロナウイルスの影響が長引き、初の試みであった「合同教育懇談会」や本会の目的の一つである「会員相互の親睦」など、会員皆様の期待に応えられず辛い一年となりましたが、今後とも後援会の持続可能な活動を大学関係者、会員の皆様と共に日本工業大学の発展のために取組んで参ります。

最後になりましたが、柳澤理事長、成田学長をはじめ、教職員の皆様、後援会事務局の皆様には本会活動へのご協力に感謝致します。会員の皆様には引き続き本会活動のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 「コロナ禍という逆境を プラスに転換してくれることを願って」

学長 成田 健一



今年は、2018年度に行った学部学科改組の完成年度を迎え、新学部・新学科の第一期生を社会に送り出しました。埼玉県雇用対策協議会との連携にも取り組み、例えば新設した応用化学科の女子学生が薬品メーカーや化粧品会社に就職が決まるなど、新しい就職分野の開拓にも一定の成果をあげることができました。

ただ、今年の卒業生は、本格的な専門教育に取り組む3年次のスタートから新型コロナウイルス感染症禍に見舞われ、授業も就職活動も色々な制限の中で取り組み、さらに集大成の卒業研究の発表が過去最大の感染ピークに重なりました。そのような逆境にもかかわらず卒業を迎えられた皆さんには、その努力に対し、心から拍手を送りたいと思います。

後援会活動につきましては、地域別教育懇談会も中止となり、十分な対応がこの一年間でできませんでした。また、後援会の特別事業については、様々な新型コロナウイルス対策に充当していただきました。あらためて、深く感謝申し上げます。

関東エリアは蔓延防止等重点措置が3月21日まで延長されるなど、まだまだ予断は許さない状況ですが、可能な限りの安全対策を施したうえで、本来の対面授業という形での運営継続に努めて参ります。どうか変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

日本工業大学後援会 会報

第

117  
号

発行 / 日本工業大学後援会

埼玉県南埼玉郡宮代町学園台四二  
番(〇四八〇)三四一四二二(代)  
令和四年三月二十五日  
<http://nikouenka.jp/>

R100



令和4年3月20日、学部760名が卒業、博士前期課程50名、後期課程2名が修了を迎えました。今年も残念ながら、長らく感染症の影響により、会員の皆様の参列が叶いませんでした。このような状況下でも、たくましく巣立っていった卒業生諸君に心からのエールを送りたいと思います。

